



このリリースの新規情報および変更情報

この章は、次の内容で構成されています。

- 「[新規情報および変更情報](#)」(P.1-1)

新規情報および変更情報

次の表は、この最新リリースに関するマニュアルでの主な変更点の概要を示したものです。この表は、このマニュアルに加えられた変更やこのリリースで加えられた新しい機能をすべて網羅するものではありません。

機能	説明	参照先
サービス リクエストのすべてのワークフロー入力/出力を表示する機能	サービス リクエストのすべてのワークフロー入力/出力を表示する機能を提供します。	「[入力/出力] タブへのアクセス」 (P.4-25)
サービス リクエストの承認時にワークフロー入力/出力を表示または編集する機能	サービス リクエストの承認時にワークフロー入力/出力を表示または編集する機能を管理者に提供します。	「[入力/出力] タブへのアクセス」 (P.4-25)
ワークフロー ユーザ入力を必須またはオプションとして設定する機能	ワークフロー ユーザ入力を必須またはオプションとして設定する機能を提供します。	「ユーザ入力の選択性」 (P.4-4)
失敗したサービス リクエストの入力を変更して再送信する機能	失敗したサービス リクエストの入力を変更して再送信する機能を提供します。	「失敗したサービス リクエストまたはキャンセルされたサービス リクエストの再送信」 (P.5-2)
ワークフロー入力を作成または相互起動する機能	タスクの追加または編集時にワークフロー入力を作成または相互起動する機能を提供します。	「ワークフロー入力の相互起動」 (P.4-26)
「マクロの使用法」章	Cisco UCS Director のマクロ機能では、アプリケーションに用意されている変数を使用して VM 名と VM ホスト名をカスタマイズできます。	付録 A 「マクロの使用法」

ワークフロー タスクの入力/出力に関する変更

表 1 に、Cisco UCS Director リリース 4.1 でワークフロー タスクの入力/出力に関して加えられた変更点を示します。

表 1 ワークフロー タスクの入力/出力に関する変更

シナリオ	ワークフロー タスク	入力/出力に関する変更
UCS	Cisco UCS タスク： [UCS サービスプロファイルへの vNIC の追加]	アップグレード後、このタスクに対してバインディング エラーの問題が報告されます。 (CSCum08951) 対処法：タスクを削除してからワークフローに追加し直します。
UCS	Cisco UCS タスク： [サービスプロファイルへの VLAN の追加]	入力/出力のマッピングが変更されました。 新しいエンティティ vNIC が原因でワークフローが失敗することがあります。 対処法：vNIC に対する必要な入力値に基づく選択を追加します。
UCS	Cisco UCS タスク： [UCS サービスプロファイル名の変更]	追加の入力がこのタスクに追加されました。 対処法：必要な入力値に基づく選択を追加します。
UCS	Cisco UCS タスク： [サービスプロファイルへの vNIC の追加]	追加の出力： OUTPUT_MAC_POOL_IDENTITY MACPOOL IDENTITY
UCS	Cisco UCS タスク： [UCS VLAN/VLAN グループ組織の権限の変更]	入力/出力のマッピングが変更されました。 複数選択機能をサポートするために、 ucsOrganizationIdentity の組織のマッピングされたユーザ入力が ucsMultiOrganizationIdentity に変更されました。 この変更により、一度に複数の組織を選択できるようになりました。
UCS	Cisco UCS タスク： [UCS ブートポリシーの作成]	次の入力に対して、マウスオーバー ヘルプ テキストとタスク ライブラリ テキストが更新されました。 <ul style="list-style-type: none"> ブート順序の [CD ROM の追加] ブート順序の [フロッピーディスクの追加] ブート順序の [ローカルディスクの追加] ブート順序の [プライマリ LAN ブートの追加] ブート順序の [プライマリ SAN ブートの追加]
UCS	CIMC タスク： [ラックサーバの設定解除]	入力/出力に関する変更 「cimc_server」入力/出力タイプが「cimcServerIdentity」に変更されました。 対処法：新しい「cimcServerIdentity」入力/出力タイプを使用してワークフローを更新します。

表 1 ワークフロー タスクの入力/出力に関する変更

シナリオ	ワークフロー タスク	入力/出力に関する変更
UCS	CIMC タスク : [CIMC ブートデバイスの選択]	スロット 1 および 2 のそれぞれにおいて、タスク出力が次の値で更新されました。 OUTPUT_CIMC_SERVER_SLOT_<>_MAC_ADDRESS OUTPUT_RACK_SP_SLOT_<>_VHBA_1_VLAN OUTPUT_RACK_SP_SLOT_<>_VHBA_1_WWPN OUTPUT_RACK_SP_SLOT_<>_VHBA_2_VLAN OUTPUT_RACK_SP_SLOT_<>_VHBA_2_WWPN
UCS	CIMC タスク : [CIMC サーバの電源のオン/オフ]	「cimc_server」入力/出力タイプが「cimcServerIdentity」に変更されました。 対処法：新しい「cimcServerIdentity」入力/出力タイプを使用してワークフローを更新します。 スロット 1 および 2 のそれぞれにおいて、タスク出力が次の値で更新されました。 OUTPUT_CIMC_SERVER_SLOT_<>_MAC_ADDRESS OUTPUT_RACK_SP_SLOT_<>_VHBA_1_VLAN OUTPUT_RACK_SP_SLOT_<>_VHBA_1_WWPN OUTPUT_RACK_SP_SLOT_<>_VHBA_2_VLAN OUTPUT_RACK_SP_SLOT_<>_VHBA_2_WWPN

表 1 ワークフロー タスクの入力/出力に関する変更

シナリオ	ワークフロー タスク	入力/出力に関する変更
UCS	CIMC タスク : [ラックサーバの設定]	<p>「cimc_server」入力/出力タイプが「cimcServerIdentity」に変更されました。</p> <p>対処法：新しい「cimcServerIdentity」入力/出力タイプを使用してワークフローを更新します。</p> <p>スロット 1 および 2 のそれぞれにおいて、タスク出力が次の値で更新されました。</p> <p>OUTPUT_CIMC_SERVER_SLOT_<>_MAC_ADDRESS</p> <p>OUTPUT_RACK_SP_SLOT_<>_VHBA_1_VLAN</p> <p>OUTPUT_RACK_SP_SLOT_<>_VHBA_1_WWPN</p> <p>OUTPUT_RACK_SP_SLOT_<>_VHBA_2_VLAN</p> <p>OUTPUT_RACK_SP_SLOT_<>_VHBA_2_WWPN</p>
ネットワーキング	[VFC インターフェイスの作成]	<p>アップグレード後、デバイス選択のみが変更されました。</p> <p>対処法：再設定後はワークフローを正常に実行できます。</p>
NetApp	[VSC を使用したデータストアの作成：選択]	<p>アップグレード：C モード バインディング エラー</p> <p>[VSC を使用したデータストアの作成：選択] による vServer 名および vFiler 名の入力は、このリリースでの新機能です。</p> <p>対処法：必要な入力値に基づく選択を追加します。</p>
NetApp	[ClusterFlexibleVolume の作成]	<p>アップグレード：C モード バインディング エラー</p> <p>タイプ DC 用の [ClusterFlexibleVolume の作成：FlexCache 起点ボリューム名] は新しい入力です。この入力は、ボリューム タイプ DC に必須です。</p> <p>対処法：ボリューム タイプを DC から RW に変更してからタスクを再送信します。</p> <p>ただし、LUNS および QTREE が同じワークフロー内でマッピングされている場合、vServer マッピングは保存されません。</p>

表 1 ワークフロー タスクの入力/出力に関する変更

シナリオ	ワークフロー タスク	入力/出力に関する変更
NetApp	[エクスポートポリシーの削除]	アップグレード：C モード バインディング エラー [エクスポートポリシーの削除：vServer 入力] は削除されました。 対処法：ポリシー名を指定し、タスクを再送信します。
NetApp	[エクスポートルール of 削除]	アップグレード：C モード バインディング エラー [エクスポートルールの削除：vServer 入力] は削除されました。 対処法：ルール名を指定し、タスクを再送信します。
NetApp	[LUN をデータストアとして関連付け]	アップグレード：C モード バインディング エラー a. すべての入力の再検証後もアップグレード上での既存のタスクの実行中にバインディング エラーが発生します。 b. すべての入力の再検証後もインポートされたタスクでバインディング エラーが発生します。 c. 新しいタスクを作成したときはバインディング エラーは発生しません。
NetApp	NetApp クラスタ化データ ONTAP タスク： [クラスタイニシエータグループの作成]	アップグレード：C モード バインディング エラー [イニシエータグループ名] の入力に対してマッピングされたタイプが「netAppInitiatorGroupName」から「gen_text_input」に変更されました。 対処法：管理入力ユーザの場合は、タイプが「gen_text_input」の入力を追加し、これを既存のワークフローの入力「イニシエータ グループ名」にマッピングします。
NetApp	削除された NetApp クラスタ化データ ONTAP タスク： [クラスタボリューム NFS エクスポートの追加] [クラスタボリューム NFS エクスポートの削除]	対処法：ユーザは、これらのタスクをワークフローから削除し、次のタスクで置き換える必要があります。 [クラスタ NFS サービスの作成] [クラスタ NFS サービスの破棄]

表 1 ワークフロー タスクの入力/出力に関する変更

シナリオ	ワークフロー タスク	入力/出力に関する変更
NetApp	NetApp ONTAP タスク : [vFiler NFS ボリュームエクスポートの追加]	7mode のアップグレード : 入力/出力マッピングが変更されたタスク : このタスクでは、出力「OUTPUT_VFILER_IDENTITY」も提供されるようになりました。 対処法 : 以降のタスクでは、これをマッピングされた入力として使用します。 [すべてのホスト] 属性が削除されました。 対処法 : アップグレード後に [すべてのホスト] 属性が選択されている場合は、[読み取り/書き込みホスト] と [ルートホスト] の値を指定し、タスクを再送信して実行します。
NetApp	NetApp ONTAP タスク : [イニシエータグループの作成]	7mode のアップグレード : [イニシエータグループ名] の入力に対してマッピングされたタイプが「netAppInitiatorGroupName」から「gen_text_input」に変更されました。 対処法 : 管理入力ユーザの場合は、タイプが「gen_text_input」の入力を追加し、これを既存のワークフローの入力「イニシエータグループ名」にマッピングします。
一般的な作業	[ユーザの変更]	マッピングまたはバインディング エラーが修正されたタスク : このタスクを実行すると Null ポインタ例外が発生します。 対処法 : タスクを再検証してから実行します。
一般的な作業	[インベントリ収集]	このタスクのネットワークデバイス入力タイプが [汎用テキスト] から [ネットワークデバイス] タイプに変更されました。 対処法 : 入力タイプを [ネットワークデバイス] に変更し、入力を管理入力としてマッピングします。
VMAX	[カスケード化ストレージグループの作成]	親および子ストレージグループに関して、選択タイプが EMCVMAXStorageGroupNameList から EMCVMAXStorageGroupIdentity タイプに変更されました。 対処法 : マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。

表 1 ワークフロー タスクの入力/出力に関する変更

シナリオ	ワークフロー タスク	入力/出力に関する変更
VMAX	[カスケード化イニシエータグループの作成]	親および子イニシエータグループに関して、選択タイプが EMCVMAXInitiatorGroupNameList から EMCVMAXInitiatorGroupIdentity タイプに変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
VMAX	[マスクビューの作成]	ストレージグループ、イニシエータグループ、およびポートグループを選択するには、これらの変数に対して NameList タイプの代わりに Identity タイプを使用する必要があります。
VMAX	[VMAX ポートグループの作成]	マルチポートリストを選択するためのマッピング可能タイプが EmcVmaxDirectorMultiPortList から Gen_text_input に変更されました。 対処法：VMAX ポートグループワークフローを再作成します。
VMAX	[FAST ポリシーをVMAXストレージグループに関連付け]	優先順位に関する新しいオプションが追加されました。 対処法：優先順位入力を指定し、マッピング可能タイプを EMCVMAXFastPolicyIdentity に変更します。
VMAX	[VMAX ポートグループの作成]	ポートを選択するためのマッピング可能タイプが gen_text_input から emcvmxalldirportlist に変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
VMAX	[VMAX ポートグループへのポートの追加]	ポートをポートグループに追加するためのマッピング可能タイプが gen_text_input から EMCVMAXPortGroupUnboundedDirPortList に変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
VMAX	[VMAX ポートグループからのポートの削除]	ポートをポートグループから削除するためのマッピング可能タイプが gen_text_input から EMCVMAXPortGroupBoundedDirPortList に変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
VMAX	[VMAX イニシエータグループの作成]	イニシエータタイプを選択するためのマッピング可能タイプが gen_text_input から EMCVMAXInitiatorType に変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。

表 1 ワークフロー タスクの入力/出力に関する変更

シナリオ	ワークフロー タスク	入力/出力に関する変更
VMAX	[VMAX イニシエータグループへのイニシエータの追加]	イニシエータ タイプを選択するためのマッピング可能タイプが <code>gen_text_input</code> から <code>EMCVMAXInitiatorType</code> に変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
VMAX	[VMAX イニシエータグループからのイニシエータの削除]	イニシエータ タイプおよび削除対象のイニシエータを選択するためのマッピング可能タイプが <code>gen_text_input</code> から <code>EMCVMAXInitiatorType</code> および <code>EMCVMAXInitiatorsList</code> にそれぞれ変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
VMAX	[VMAX イニシエータグループのイニシエータの置換]	イニシエータ タイプおよび置換対象のイニシエータを選択するためのマッピング可能タイプが <code>gen_text_input</code> から <code>EMCVMAXInitiatorType</code> および <code>EMCVMAXInitiatorsList</code> にそれぞれ変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
VMAX	[TDEV を VMAX ストレージグループに追加]	TDEV を選択するためのマッピング可能タイプが <code>gen_text_input</code> から <code>EMCVMAXAllStorageThinDevices</code> に変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
VMAX	[ストレージグループからの TDEV の削除]	削除対象の TDEV を選択するためのマッピング可能タイプが <code>gen_text_input</code> から <code>EMCVMAXBoundedStorageGroupDevices</code> に変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
VMAX	[VMAX Thin プールの拡張]	Thin プールを拡張する TDEV を選択するためのマッピング可能タイプが <code>gen_text_input</code> から <code>EMCVMAXUnBoundedDataDevDevicesList</code> に変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
VMAX	[Thin デバイスを VMAX Thin プールにバインド]	Thin プールにバインドする TDEV を選択するためのマッピング可能タイプが <code>gen_text_input</code> から <code>EMCVMAXUnBoundedThinDevDevicesList</code> に変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。

表 1 ワークフロー タスクの入力/出力に関する変更

シナリオ	ワークフロー タスク	入力/出力に関する変更
VMAX	[VMAX Thin デバイスの作成]	Thin プールをエミュレートするためのマッピング可能タイプと Thin プールを選択するためのマッピング可能タイプが <code>gen_text_input</code> から <code>EMCVMAXDataDeviceEmulationTypeList</code> および <code>EMCVMAXThinPoolIdentity</code> にそれぞれ変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
VMAX	[VMAX データデバイスの作成]	Thin 設定をエミュレートするためのマッピング可能タイプと設定を選択するためのマッピング可能タイプが <code>gen_text_input</code> から <code>EMCVMAXDataDeviceEmulationTypeList</code> および <code>EMCVMAXDataDeviceConfigurationTypeList</code> にそれぞれ変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
VMAX	[VMAX メタデバイスの作成]	メンバデバイスを選択するためのマッピング可能タイプが <code>gen_text_input</code> から <code>EMCVMAXNonMetaUnBoundThinDevicesList</code> に変更されました。 対処法：マッピング可能タイプを新しいタイプに変更します。
HyperV	[論理スイッチへの仮想ポートの追加]	このタスクをネットワーク ワークフローに含めた場合は、バインディングを指定した後も次のエラーが生成されます。 「ハンドラがエラーで失敗しました - 無効な論理スイッチ ID : , selectedContext=<None>」

